

# 大 学 史 研 究 通 信

セミナー・総会 号外 2022年11月18日(金)  
大学史研究会

セミナー・総会 号外の内容：第45回大学史研究セミナープログラム、総会について、会員新刊ニュース、大学史研究会運営委員／事務局員一覧

## 第45回大学史研究セミナープログラム

2022年12月3日(土)、4日(日)開催の第45回大学史研究セミナープログラムをご案内いたします。参加ご希望の方は、研究会HPよりお申込み下さい。

2022年12月3日(土) 13:00～17:50

時間	発表者	内 容
13:00		Zoom 接続開始
13:20～14:50		総会 (会員のみ)
15:00～15:10	山本 珠美 (青山学院大学)	シンポジウム「表現する学生—大正・昭和戦前期の学生課外活動の検討—」 趣旨説明
15:10～16:40	松村 晶 (久留米工業高等専門学校) 福元真由美 (青山学院大学) 山本 珠美 (同上)	事例1. 九州帝国大学におけるオーケストラ活動 事例2. 東京帝国大学セツルメント託児部の活動 事例3. 学生巡回講演
16:50～17:50		全体討議

2022年12月4日(日) 9:00～12:40

時間	発表者	内 容
9:00		Zoom 接続開始
9:15～10:00	大森 東亜 (元明治大学)	岩倉使節団と日本の高等教育
10:05～10:50	今野 翔太 (国際医療福祉大学三田病院)	東京帝国大学における「研究室」の研究
11:05～11:50	川崎 成一 (名古屋産業大学・東京大学)	大学財務史を読み解く新たな手法
11:55～12:40	福石 賢一 (高知工科大学)	ケンブリッジ大学工学教授ユーイングの技術者養成観

- ・開催方法：Zoom形式(シンポジウム、総会、自由研究発表の3つについて、それぞれミーティングID、パスワードを参加されるみなさまにメールでご連絡いたします。なお、総会については会員のみ限定いたします。)
- ・参加費：会員・非会員ともに無料
- ・申し込み方法：Google Formsで受け付け  
(申込期間：11月16日(水)9:00～11月30日(水)17:00)
- ・お願い：シンポジウム、自由研究発表の各種資料は、発表者本人の許可なく撮影、複製等を禁じます。

## 大学史研究セミナー シンポジウム

「表現する学生—大正・昭和戦前期の学生課外活動の検討—」開催趣旨

今年の大学史研究セミナーでは「表現する学生」をテーマとしてシンポジウムを開催する。

大学史研究において、学生の活動は、それが正課であれ正課外であれ、扱いが難しいものの一つであると考えられる。最大の要因は、日常的な学生生活の実態は、記録として残されるものが少ないという史料的な制約にある。しかしながら、大学を構成する要素として、学生の活動は大学史研究の中で本来中心的に扱われなければならないテーマの一つである。

齊藤利彦編『学校文化の史的探究：中等諸学校の『校友会雑誌』を手がかりとして』（東京大学出版会、2015年）は、中等諸学校の生徒の活動を対象とする研究書であるが、ここに示された視点はおおむね高等教育機関に所属する学生の活動を分析する際にも有効であると考えられる。学生の活動（主に課外活動を指す）は、教員の指導の下に行われるという側面と学生が自主的・自生的に作り上げるという側面があること、担い手相互（教員と学生、教員間、学生間、時には卒業生も）の対立や葛藤の中で作り上げられること、社会から影響を受けると同時に社会へ影響を与えること、等々である。

シンポジウムでは、精神病学の教授であり、かつバイオリン演奏も活発に行っていた榊保三郎が設立した九大フィルの活動について、九大フィル 100 年史の編纂に関わられた松村晶氏（久留米工業高等専門学校長）に、東京帝国大学セツルメントの活動、中でも託児部の活動について、幼児教育学・保育史の福元真由美氏（青山学院大学教授）に事例報告をしていただく。また、本会からは山本珠美が講演部・弁論部や県人会による学生巡回講演の実態について報告し、その後、学生活動をいかに読み解き、大学史研究に位置付けるかについて全体討議をする。

（セミナー担当：山本珠美）

### 総会について

運営委員会より、2022年12月3日（土）の総会（オンライン）にて、以下の事項について報告及び審議をさせていただきます。

#### <報告事項>

- （1）運営委員会・事務局活動報告
- （2）会員数報告
- （3）メールアドレスの変更について
- （4）ホームページ及びメールアドレスの管理者として、会員に委嘱することについて
- （5）『大学史研究』の J-stage への掲載について

#### <審議事項>

- （1）会員数の増加のための具体的な施策について
- （2）予算、特に紀要刊行費の問題について
- （3）日本学術会議協力学術研究団体への加盟について
- （4）紀要編集委員会の体制について

(状況説明) 次号 31 号 (2022 年 12 月刊行予定) をもって、福留編集委員長、福石副編集委員長、および熊澤編集委員が退任されます。それに伴い、新たな編集委員長、副編集委員長、編集委員の 3 名を補充します。補充する編集委員の名簿は総会当日に提示します。

(5) 『大学史研究』編集委員長、副編集委員長の退任に伴う運営委員の補充について  
(状況説明) 審議事項 (4) の紀要編集委員会の体制の変更に伴い、運営委員を兼任していただいている福留委員、福石委員が運営委員を退任されます。これに伴い新たな運営委員を補充します。補充する運営委員については総会当日に提示し、会員のみなさまにお諮り致します。

(6) 電子媒体での通信発送と会員情報の収集について

(7) 決算報告および予算案

(運営委員会代表：坂本辰朗)

### **会員新刊ニュース**

・羽田貴史・広渡清吾・水島朝穂・宮田由紀夫・栗島智明『危機の中の学問の自由 世界の動向と日本の課題』岩波書店、2022 年 9 月

「大学史研究通信」セミナー・総会 号外の編集は、事務局・蝶 慎一が担当致しました。  
連絡先：jshshe<at>daigakushi.jp（今後変更の可能性あり）

「大学史研究通信」第106号は、2023年2月発行予定です。

**大学史研究会**

**<運営委員長>**

坂本辰朗

**<事務局連絡先>**

事務局へのお問い合わせは、下記代表Eメールアドレスまでお願い致します

E-mail: jshshe<at>daigakushi.jp

**運営委員（五十音順）**

坂本辰朗（創価大学）

福石賢一（高知工科大学）

福留東土（東京大学）

船勢 肇（長崎女子短期大学）

山崎慎一（桜美林大学）

山本珠美（青山学院大学）

山本尚史（筑紫女学園大学）

**事務局員（五十音順）**

蝶 慎一（香川大学）

原 圭寛（湘南工科大学）